

地下かんがい施設の使用水量の解明

福島県農業試験場種芸部・平成9～10年度春夏作試験成績概要

1 部門名 農業土木－農業土木－水管理・水分制御 12－01－14000000

2 要 旨

乾田直播栽培における出芽、苗立ち安定化のため、地下かんがい施設の有効な活用方法について検討した。

(1)地下かんがいでは、播種後の地下水位を地表面から10～20cm程度に保つよう給水を行うことにより、播種面を発芽に適切な土壌水分に保つことが出来、出芽率90%を確保することが出来た。この方法は、実態調査から得られた慣行かん水方法に比べて、有効水量の割合も高めることが出来た。

(2)なお、現地ほ場においては、不陸の程度、降雨等により田面に停滞水が生じないよう施設を管理する必要がある。